

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月 6日 更新

事務事業名		中央汚水幹線及び堀川汚水幹線維持管理負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	水道局		課長名	水野 孝春
計画	施策	10	水環境の保全				所属課	上下水道課		担当者名	主事 中山 大志
体系	基本事業	30	水質の浄化				所属班	庶務料金班		(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令 根拠	下水道法			成果優先度評価結果	(⑩)
	下水	1	1	3	10230					コスト削減優先度評価結果	—
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	(開始年度	18	年度)	～	年度)
					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度						

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本北部流域下水道を構成する菊陽町との協定により、中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費を負担する。昭和57年に熊本県が事業主体となり、合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業が始まると、供用開始となつた平成元年より旧合志町の一部区域について、汚水を菊陽町の汚水幹線に放流することにより始まった。供用開始より約20年が経過しているため、施設の老朽化が心配される。平成24年度より菊陽町下水道事業の企業会計移行に伴い、セミコンテクノパーク維持管理協定について見直しの必要が出てきた。
【業務の流れ】	中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の維持管理等の経費に係る合志市の負担金の算出、協議、検討、支払事務（経費の負担は実排水量による）。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金。
【意見や要望】	特になし。 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
維持管理等負担金の支出。	維持管理等負担金の支出。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア)負担金の額	(単位) 千円 →イ
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・ポンプ場及び関連施設。	(単位) ア)堀川汚水幹線への放流量 →イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・施設が支障なく稼動できるようにする。	(単位) ア)ポンプ場及び関連施設の問題案件の報告数 →イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 成果指標について、事業主体が菊陽町であり、中央汚水幹線、堀川汚水幹線及びセミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の問題点については、問題案件の報告という形でしか状況の把握を行えないため、設定は妥当である。目標値については、通常の負担金に加え、セミコンテクノパーク汚水中継ポンプ場の老朽化に伴い中継ポンプ場の改築が予定されているので、その負担分を含め算出している。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
① 活動指標	ア)負担金の額	千円		1,758	4,370	4,653	2,696	3,359	2,000	2,000	2,000
② 対象指標	ア)ポンプ場及び関連施設	m ²		2,042,893	1,895,329	2,113,000	2,032,212	2,176,000	2,180,000	2,190,000	2,200,000
③ 成果指標	ア)ポンプ場及び関連施設の問題案件の報告数	件		1	0	1	1	1	1	1	1
投 費 量	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円		1,758	4,370	4,653	2,696	3,359	2,000	2,000	2,000
	(A)のうち指定経費	千円		0	4,370	0	2,696	3,359	2,000	0	0
	(A)のうち時間外・特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人		5	3	3	4	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間		30	25	25	32	25	25	25	25
	(B)人件費計	千円		119	103	103	129	103	103	103	103
	トータルコスト(A)+(B)	千円		1,877	4,473	4,756	2,825	3,462	2,103	2,103	2,103

合志市

事務事業名	中央污水幹線及び堀川污水幹線維持管理負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (S E E)

*原則は23年度の事後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

3 評価結果の総括（S E E） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

施設の老朽化に伴い、負担金が増加傾向にあるが、計画的に改築更新を行うことにより、将来的なトラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来るようになると見込んでいます。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（P L A N）

- (1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）

施設の老朽化に伴い、負担金が増加傾向にあるが、計画的に改築更新を行うことにより、将来的なトラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると見込んでいる。

- #### (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上	○	
	維持		△
	低下	△	△

- (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

事業の優先度を厳正に判断する。